

**令和8年度**

**「運営に関する計画」**

**大阪市立天下茶屋小学校**

**令和8年4月**

1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

近年では、気温が上昇し命を脅かす「危険レベルの暑さ」によって運動やスポーツなどの活動が制限されている。そんな中で子ども達の健康面や安全面、特に熱中症対策を最優先に考え、工夫しながら学習活動に取り組んでいる。

学力向上に関しては、一昨年度の全国学力テスト、すくすくウォッチ、学力経年調査においては、全学年で前年度を下回り、全国平均および大阪市平均をも下回り、基礎学力の定着が喫緊の課題である。学習の基本「読み・書き・計算」を学校と家庭が連携し、読みは黙読・音読、書きは視写、計算はタブレットドリルを活用して家庭でも繰り返せるように配慮した。また区の支援事業のジャガピースクール、ジャガピーアドバンス、まなび塾、読書活動推進事業などとの連携を推進した。学力向上の支えのため、さらなる読書活動を推進してきた。毎週水曜日の朝 8:30～8:40 の 10 分間に「読書タイム」を設け、また学校司書による読み聞かせ等の取り組み、児童の委員による図書館開放や読書の木、図書ガチャ、図書おみくじ、先生や保護者からのおすすめ本などの図書委員会による活動など可能な限り児童が読書への興味関心をもつ取組や工夫を行ってきた。その成果はすぐに表れ、昨年度の全国学力テストでは全国比で国語 0.94、算数 0.98 で昨年度より改善され全国平均に近づいた。また、今年度は「総合的読解力」の育成に努め、年間計画を立てて進めてきた。さらに5、6年生では見えない学力と言われている「非認知能力」の向上にも取り組んだ。また夏休みと冬休みの課題として「自主学习」の提出を進め、休み明けにコンテストということで優秀なものについては表彰するなど子どもたちの学習意欲を高める取組を始めた。

教員の授業力向上に関しては「学力向上支援チーム」のスクールアドバイザーによる全教員への指導・助言を依頼し、昨年度から継続して取り組んだ。できる限り相互授業参観の機会を増やした。本校は、経験年数が短い教員が多いため、より授業力を高めることが期待できる。

本校の地域の特性や家庭状況もあり、運動やスポーツをする場所や機会が少なく、一週間の運動量が60分以内の児童の割合が男子15.4%、女子12.4%と昨年度よりは増えてきた。特に男子については、全国や市と比べても著しく高い割合になっている。子どもたちの運動不足を解消するため、令和5年度から研究教科を「体育科」とし、運動やスポーツが苦手な児童でも手軽に楽しく取り組める表現活動やリズム運動を学校全体で取り組んだ。令和7年度は1月22日に区の教員研究発表会で1・3・5年のリズム運動の実践を発表し、今年度は表現運動に絞り校内研究授業、研究協議、小教研の体育部による研究授業を実践し、3年間の総決算を行った。

元気アップ週間や手洗い週間などを設定し、手洗いの励行、毎日の健康状態の管理等を通し健康の保持増進に積極的に努めた。また縄跳び週間と大縄跳び大会を1・3学期の2回、3学期にはかけあし週間でインターバル走を取り入れた。しかし深刻なのが近年の気温上昇で、夏場の猛暑はともかく10月ころまで夏日が続き熱中症対策が喫緊の課題である。すでに気温の状況により Meet を活用した集会やエアコンの入った多目的室の活用などしているが、さらに夏場の運動やプール水泳なども危険のため制限する必要がある、運動会を6月に、林間学習は11月に近場で一泊に変更して実施した。水泳の時期・場所および体育の授業の場所の検討や日よけ対策も必須である。

学校生活における基本「時を守り、場を清め、礼を正す」では、「時間を守る」「校内をきれいにする」ことの重要性を朝会の場や学校だよりを通して訴え、児童の自発的な行動を目指した取組も行った。また児童会活動では「あいさつ週間」を設定し自ら進んで「あいさつ」することの大切さに気付かせることで、思いやる心や感動する心、互いに違いを認め合える、豊かな情操の育成に努めた。

子どもたちの心の状態を把握したり子どもたちからの SOS をいち早くキャッチするため、タブレット端末のスクールライフノート「心の天気」「相談」などの機能を活用したり、いじめや不登校など生活指導における情報交換を教職員間で定期的実施することに加えて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも情報共有し、各家庭との連携を図るなど、問題の解決に努めた。不登校児童は

少なからずおり、改善はしていないという問題は残るもののその他の生活指導における問題は解決できている。

昨年度に近隣地域で事件が起きたこともあり、児童の安全を最優先に取り組んだ。毎日の通学路の見守り活動、巡回は昨年度に引き続き行い、地震・津波や火災に対する避難訓練、集団下校や保護者への引き渡し訓練、不審者対応訓練を実施した。さらに関係諸機関とも連携し、非行防止教室や交通安全教室も実施した。PTA が中心の通学路プロジェクトで危険地点の再確認や子ども 110 番の所在を知らせる取組を行った。

近年、働き方改革が叫ばれて久しくなるが、教員不足の現状もあり少しずつではあるが改善されてきた。本校でも「ゆとりの日」や18時警備セット時間の設定、会議の効率化を進め、時間外勤務時間の短縮の取組を行った。また学校協議会や PTA 実行委員会などで保護者や地域にも周知し、教員の負担軽減への理解と協力を依頼した。さらに ICT 機器活用や若手教員育成のため研修活動を増やし、外部講師も積極的に招聘した。

今後も学校では、予想される Society5.0 といわれる社会に順応できるように、ICT機器の導入やネットワーク切り替えなどICT教育環境の整備が急速に進んでいく。子どもたちが誰一人取り残されないような取り組みを推進していく必要がある。そのために本年度の教育活動を、本自己評価を踏まえ、次年度の教育改善へとつなげていく。

#### 中期目標

##### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和11年度の全国学力・学習状況調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を全国平均以上にする。
- 令和11年度の全国学力・学習状況調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を全国平均以上にする。
- 令和11年度の全国学力・学習状況調査における「学校に行くのは楽しいですか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を全国平均以上にする。
- 令和11年度末の全国学力・学習状況調査における「自分には良いところがありますか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を全国平均以上にする。
- 令和11年度末の保護者アンケートにおける「学校は、保護者や地域と連携した教育活動を進めている」と肯定的に答える保護者の割合を90%以上にする。

##### 【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 令和11年度までに全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を1.00以上にする。
- 令和11年度3学期における校内アンケートで「学習は楽しい」と答える児童の割合を全体の80%以上にする。
- 令和11年度の小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」の項目における肯定的な回答を90%以上にする。
- 令和11年度末の小学校学力経年調査「理科の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する6年生の割合を80%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和11年度末の小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 令和11年度の小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 令和11年度末の教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間20時間以下にする。
- 令和11年度末の小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和8年度の全国学力・学習状況調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。
- 令和8年度の全国学力・学習状況調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を全国80%以上にする。
- 令和8年度の全国学力・学習状況調査における「学校に行くのは楽しいですか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。
- 令和8年度末の全国学力・学習状況調査における「自分には良いところがありますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。
- 令和8年度末の保護者アンケートにおける「学校は、保護者や地域と連携した教育活動を進めている」と肯定的に答える保護者の割合を80%以上にする。
- 校内調査における「地域に出かけたり、地域の人に教えてもらったりする学習は楽しい。」と肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 令和8年度3学期における校内アンケートで「あいさつが、しっかりできている」と答える児童の割合を全体の80%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

### 【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 令和8年度の全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を1.00以上にする
- 令和8年度3学期における校内アンケートで「学習は楽しい」と答える児童の割合を全体の80%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「1週間の総運動時間」が60分未満の児童の割合を20%以下にする。
- 令和8年度末の小学校学力経年調査「理科の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する6年生の割合を70%以上にする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を75%以上にする。
- 令和8年度の小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 令和8年度末の教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間20時間以下にする。
- 令和8年度末の小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 学習者用端末を活用した家庭学習を週1回以上実施する。
- 令和8年度の小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立天下茶屋小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○令和8年度の全国学力・学習状況調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。</p> <p>○令和8年度の全国学力・学習状況調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を全国80%以上にする。</p> <p>○令和8年度の全国学力・学習状況調査における「学校に行くのは楽しいですか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。</p> <p>○令和8年度末の全国学力・学習状況調査における「自分には良いところがありますか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。</p> <p>○令和8年度末の保護者アンケートにおける「学校は、保護者や地域と連携した教育活動を進めている」と肯定的に答える保護者の割合を80%以上にする。</p> <p>○校内調査における「地域に出かけたり、地域の人に教えてもらったりする学習は楽しい。」と肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p>○令和8年度3学期における校内アンケートで「あいさつが、しっかりできている」と答える児童の割合を全体の80%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>1 いじめや問題行動の未然防止に努めるとともに、早期発見・指導・解決に学校全体で取り組む。</p> <p>2 基本的な生活態度の育成に努め、規律と秩序のある教育環境の実現に取り組む。</p> <p>3 防災・減災教育および安全教育の充実に努め、避難訓練、防災訓練等の実施により災害時等の避難行動の定期的確認に努める。</p>	





評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓くための学力・体力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和8年度の全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を1.00以上にする。</li> <li>○令和8年度3学期における校内アンケートで「学習は楽しい」と答える児童の割合を全体の80%以上にする。</li> <li>○小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</li> <li>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</li> <li>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「1週間の総運動時間」が60分未満の児童の割合を20%以下にする。</li> <li>○令和8年度末の小学校学力経年調査「理科の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する6年生の割合を70%以上にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 児童がそれぞれの目標に向けた学習に取り組む姿勢の定着を図る。</li> <li>2 国語科を中心に、他教科との結びつきを考え児童の発達段階に応じた適切な指導ができる授業実践を行う。</li> <li>3 学びサポーター、特別支援サポーターと協働しながら、個に応じた指導を行う。</li> <li>4 理科専科教員と理科補助員が連携し、実験・観察の授業を増やす。</li> </ol>	
<p>指標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 小学校学力経年調査にむけて、昨年度の結果より向上するような取組を行い、結果について振り返り、自己分析を促す機会とする。</li> <li>2 国語科を研究教科として計画的に授業研究を進め、一人1回以上の公開授業に取り組む。同時に他の教科・領域についても研修を進め、教員の指導力向上に努める。</li> <li>3 年度末に実施する「学校生活アンケート」の次の項目について、肯定的回答の割合を令和8年度の結果より向上させる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習は楽しい」</li> <li>・「調べたり発表したりする学習は好きである」</li> </ul> </li> <li>4 観察や実験などの体験的な活動を重視できるよう、月に1回以上、理科室を利用する。</li> </ol>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
指標 1
指標 2
指標 3



取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】

- 1 発達段階に応じた睡眠に関する指導等により、基本的な生活習慣を身につけるための意識づくりを行う。
- 2 系統的な歯・口の健康に関する指導等により、むし歯予防を中心とした予防歯科の推進を図る。
- 3 食育指導の充実につとめ、給食時間における「食」への興味関心を深める取組を行う。
- 4 体力づくり、運動習慣の定着をめざし、「なわとび週間」「なわとび大会」「かけ足週間」を設定する。

指標

- 1 学校生活アンケートにおける「毎日、10時くらいには寝るようにしている」の項目について肯定的に答える児童の割合を70%以上とする。
- 2 学校生活アンケートにおける「むし歯を予防するために、ていねいな歯みがきをしていますか」の項目について肯定的に答える児童の割合と歯科受診率(R7年度38.22%)を向上させる。
- 3 ・6月に「食育週間」1月に「給食週間」を設定し、食育を推進する。
  - ・給食だより・栄養だよりの定期的な発行により保護者への啓発を行う。
  - ・令和8年度末の校内アンケートにおける「給食は、しっかり食べている」の項目について、「当てはまる」と答える児童の割合を前年度より増加させる。
- 4 校内アンケートにおける「運動やスポーツは好きですか」の項目における肯定的な回答を80%以上とする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

指標 1

指標 2

指標 3

指標 4

次年度への改善点

大阪市立天下茶屋小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を75%以上にする。</li> <li>○令和8年度の小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。</li> <li>○令和8年度末の教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間20時間以下にする。</li> <li>○令和8年度末の小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。</li> <li>○学習者用端末を活用した家庭学習を週1回以上実施する。</li> <li>○令和8年度の小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上にする。</li> </ul>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 メンターの活用により若手教員の育成をはかる。</li> <li>2 派遣教育指導員の活用により、効果的な授業研究を伴う校内研修の充実をはかる。</li> <li>3 時間外勤務時間の削減に向けて、ゆとりの日（no残業day）を計画的に設定する。</li> </ol> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 若手教員に対して、指導法や児童・保護者対応について、研修に参加したメンターを中心とした意見・情報交換等を行う研修会を学期に1回開催する。</li> <li>2 研究授業の際、外部指導者を招聘し、指導内容について、専門的見地からの指導助言により深く検証を行える効果的な校内研修を実施する。全教員による授業研究を実施し、研修成果についてまとめる。</li> <li>3 ゆとりの日（no残業day）を月に2回程度設定することで、時間外勤務時間短縮の意識付けを図る。</li> </ol>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
指標 1	
指標 2	

次年度への改善点	
<p>取組内容②【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学習者用端末を活用した授業を推進するとともに、プログラミング教育の実践に努める。</li> <li>2 学習用端末を学校生活や学習で日常的に使用できるようにする。</li> </ol>	
<p>指標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ICT活用に努めるため、機器の使用方法や教材の工夫となる研修の実践を学期に1回程度行い、学習に活用する。</li> <li>2 学校、家庭間の接続確認を実施し、操作方法を保護者にも周知する。児童学校アンケート「1日に1回以上学習用端末を使っている。」の項目で、肯定的な回答を70パーセント以上にする。</li> </ol>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
指標 1	
指標 2	
次年度への改善点	